

資料 11 - 16 平成 16 年度 研究開発事業

1. 産業公害防止技術開発費補助事業（経済産業省補助事業）

テ マ 名	内 容	研究期間	研究参加企業
超臨界技術を用いた超重質油改質技術の開発	超臨界技術を用いて、超重質油を低粘度化し、取り扱い上の利便性を図ると同時に、硫黄分、灰分も極限まで低減し、従来の石油製品と同程度の品質まで改質できる改質器を開発する。	H 1 4 ~ H 1 6	中部電力(株)
亜臨界水分解による F R P の水平リサイクル技術の開発	亜臨界水により F R P (繊維強化プラスチック) を分解し、熱硬化性樹脂を樹脂原料として回収し、無機物とともに再度 F R P 成型する水平リサイクル技術を開発する。	H 1 4 ~ H 1 6	松下電工(株)
ガス化改質方式における廃棄物からの重金属除去技術の実用化開発	ガス化改質方式では従来、廃棄物から亜鉛は除去回収されてきたが、更に鉛も濃縮除去し鉛の比較的多い産業廃棄物についても埋立処分ゼロを可能にする技術を開発する。	H 1 5 ~ H 1 7	J F E エンジニアリング(株)
溶融飛灰等有害灰類の無害化および資源化技術の開発	塩分含有量の多い溶融炉飛灰をロータリーキルンを用い 1 0 0 0 余の塩化物反応で鉛等重金属を徹底的に除去する技術を開発する。	H 1 5 ~ H 1 7	住友金属鉱山(株)
有機性産業排水を対象とした完全独立運転型高度水処理技術の開発	自然循環式の好気性微生物処理を基礎技術とし、新規の濾材、処理システムの開発により嫌気性微生物の効率的な利用を可能にする。これにより風力発電等で賄えるレベルに必用電力を低減し、完全独立型の高度水処理装置を開発する。	H 1 5 ~ H 1 7	東洋電化工業(株)
残留性有機汚染物質の簡易な濃縮測定法の開発	抗体や受容体等を利用して環境中に極微量しか存在しない P C B や D X N 当の残留性有機汚染物質を簡単な操作で感度良く安価に濃縮、測定できる方法を開発する。	H 1 6 ~ H 1 8	日本エンバイロケミカルズ(株)
フッ素、ホウ素および重金属(主に砒素)吸着不溶化部材・技術の開発	セリウムを用いてフッ素、ホウ素や砒素などを安価に、非特異的に吸着する部材を開発する。	H 1 6 ~ H 1 8	日本板硝子(株) イソライト工業(株)
有機塩素系化合物由来の廃棄物処理技術開発	塩ビ壁紙を構成する材料を有効に利用して安全に処理する技術、即ち熱処理で発生する塩化水素を石灰石で塩化カルシウムとして固定する一方有機物は炭化、賦活して活性炭とする方法を開発する。	H 1 6 ~ H 1 8	呉羽環境(株)

2. 京都議定書目標達成産業技術開発促進事業（経済産業省補助事業）

テ マ 名	内 容	研究期間	研究参加企業
オンサイト型 R P F エネルギーシステムの技術開発	現在焼却処理されている廃プラスチック、紙屑について R P F エネルギーシステムを確立し、発生源の工場規模にかかわらず、その発生量にあわせて、オンサイトで R P F の製造及びその熱エネルギー回収までを行う自社工場内完結型のリサイクルシステムの構築と本システムの汎用化技術の開発を行う。	H 1 4 ~ H 1 6	井村屋製菓(株) (株)クボタ
セメントキルン用高効率低 NO _x パーナの開発	シミュレーション技術を用いた高効率低 NO _x パーナの設計後、キルン径、様式及び使用燃料種の異なるキルンでの実機実験による開発を行い、高効率かつ低 NO _x のパーナを開発する。	H 1 4 ~ H 1 6	太平洋セメント(株)
環境調和型熱電発電材料の技術開発	現在までに知られている熱電候補材料を解析し、高い熱電能、電気伝導等を支配する因子を把握し、最適結晶構造と組成の設計をするとともに、設計物質を合成・焼結し、環境負荷元素を含まない高性能酸化物熱電材料を開発する。	H 1 4 ~ H 1 6	(株)豊田中央研究所

機能性複合微生物製剤を用いたダイオキシンの生物処理システムの技術開発	機能性複合微生物製剤を用いて、ダイオキシン汚染土壌を安全・効率的に従来のコンポスト化処理と同程度の簡便さと経済性で、数ヶ月から半年間で無害化・修復する実用処理システムを構築する。	H14～H16	三井造船(株)
ポリオレフィン複合樹脂に係わる再生システムの開発	複合樹脂生産時に廃棄物として発生する廃棄樹脂を再生利用するために、高品質なものに原料化する技術を開発するとともに、再生利用の用途開発を実施する。	H14～H16	(株)ロンビック
化学合成系生分解性プラスチックのコンパウンド化による新規生分解性樹脂原料の開発	現在上市されている生分解性プラスチックの欠点(機械的強度における縦方向、横方向の強度のアンバランス)を補い合うような配合、コンパウンド化を行うことによって、扱いやすい生分解性プラスチックを開発する。	H14～H16	ダイトーエムイー(株)
温室効果ガス削減の為に空気冷媒式超低温(-60以下)急速冷凍装置の開発	空気を冷媒とした機械式でコンパクトな冷風発生装置(-60～-120)を開発する。	H15～H17	三菱重工業(株)横浜製作所
自動販売機のリユース・リサイクルシステムの開発	易分解技術、断熱材の減容化技術と生分解断熱材の開発を行ってリユース・リサイクルを推進すると共にエコ設計,制御系省エネルギー技術の開発も行う。	H15～H17	富士電機リテイルシステムズ(株)
HEV用ニッケル水素電池の高出力化技術の研究開発	新規の薄化電極を用いて低コストで高出力長寿命の高性能円筒形電池をHEV用電源として開発する。	H16～H18	(株)ジーエス・ユアサコーポレーション

3. ハノイ首都圏水浄化事業(イオン環境財団補助金事業)

内 容	対 象 国	期 間	備 考
ハノイ市内汚染河川における自然循環排水処理システムの適用可能性について、パイロット設備実験を行い検討した。	ベトナム	7/28～8/1 11/28～12/1 12/24～12/29	